

第1号議案

会員各位

2022年5月29日
一般社団法人日本舞台美術家協会 事務局総務

第1号議題 2021年度の事業報告と2022年度の事業計画案

2021年度に実施された当協会の事業報告と、2022年度の事業計画案は以下の通りです。

1. 触る模型委員会

- 2021年度は新国立劇場の依頼を受け、以下2点の模型を製作し納品しました。
 - ▶2021年7月新国立劇場「反応工程」触る模型製作（舞台美術：伊藤雅子氏/模型製作：(株)イトウマサコのアトリエ）
 - ▶2021年11月新国立劇場「イロアセル」触る模型製作（舞台美術：中根聡子氏/模型製作：久保田悠人氏）
- 2022年度は新国立劇場との協働事業
『観劇サポート日の情報保障として活用する「触る模型」製作』を予定
 - ▶2022年5月 新国立劇場「ロビー・ヒーロー」触る模型製作（舞台美術：田中敏恵氏）
 - ▶2022年5月～新国立劇場「小劇場・中劇場 客席」触る模型製作 現在調整段階です。

2. 教育育成委員会

- 【スタディ会員のためのリモートトーク第5回】2022/2/11 ゲスト：石井みつる氏/ホスト：針生康氏
【大学インタビュー】各大学で教えている舞台美術家に、どのような教育を行っているかインタビューする企画を実施しました。
 - ▶1回目：二村周作氏 2022/2/13（玉川大学芸術学部 演劇・舞踊学科）
 - ▶2回目：大津英輔氏 2022/4/2（京都芸術大学 舞台芸術学科 舞台デザインコース）※アーカイブ記録集を編集集中です。
- 2022年度の事業予定は【PQ展学生部門の参加】【第6回リモートトーク】【大学インタビュー】です。

3. 顕彰委員会

- 「伊藤熹朔賞」を引き継ぐ 新「伊藤熹朔記念賞」の実施準備の為、伊藤熹朔記念賞運営委員会を開始。
 - ▶伊藤熹朔記念賞規程作成
 - ▶協賛金依頼に変わるサポーター制度新設と広報 → ※ 詳細は「[第4号議案](#)」のページへ
 - ▶出展ガイドブックの更新
- 2022年4月「伊藤熹朔記念賞」実施 → ※ 詳細は「[報告事項①](#)」のページへ
 - ▶サポーターの特典に対する協会からの情報提供やケアの協会内での共有
 - ▶運営委員会を継続可能なように作業整理し、まとめていく

4. アーカイブ委員会

- 2021年度の報告
 - ▶インタビュー冊子
 - ・特集号、高谷昇「日本舞台装置史」冊子 4章～6章（ラスト）まで構成・印刷データ作業
 - ・緒方規矩子氏インタビューの文章構成
 - ▶多摩美共同研究3年目 研究発表に向けて準備
 - ・展覧会 5月28日仕込み5月29日～6月5日まで学校の授業時間以外開場
 - ・日本演劇学会全国大会内にて6月3日シンポジウム開催

■ 2022年度の予定

▶インタビュー冊子

- ・特集号、高谷昇「日本舞台装置史」データ完成+冊子印刷総会報告書と共に配布予定
- ・緒方規矩子氏インタビューの構成・印刷データ作業
- ・橋本潔氏インタビューの文章構成
- ▶その他、今後の活動内容を委員会内で模索する予定です。

5. 国際交流委員会

■ 2021年度の報告

- ▶海外からの情報を会員へ告知
- ▶国際コンペのお知らせをHP上に掲載

アメリカ、ウェークフォレスト大学(Wake Forest University Department of Theatre & Dance)舞台美術デザインの国際コンペ（締め切り3月22日）

- ▶PQ検討委員会の立ち上げ
- ▶R3年度文化庁海外研修員/R4年度文化庁海外研修応募者 共に該当者なし

■ 2022年度も引き続き海外からの情報を会員へお届けします。

6. 事務局 広報委員会

■ 2021年の報告

▶ホームページ関連

- ・11本のニュース記事をアップ
- ・5人の協会員にインタビューを行い、内3本の記事をアップ
- ・会員リストの修正

▶各委員会の活動と事務局との連携、協会員の活動の調査・探索などを充実させていきたい。

■ 2022年度の予定

▶ホームページ関連

- ・ニュースのアップ、協会員の活動調査&インタビュー記事をアップを継続
- ・各ページの更新・修正

▶各委員会活動と事務局との連携・伊藤熹朔記念賞・PQ等の取材、活動記録の収集を行う。

7. 出版委員会

■ 2021年4月に発行した「JAPAN STAGE DESIGN 2020」の各方面への対応、残務作業、事務作業などを行うと同時に、新設された物販委員会と協力して、申し込み方法や入金方法などの見直し検討、過去の作品集の売り上げの未回収金の回収も行いました。

■ 2022年度は出版委員会としての大きな活動予定はありません。

引き続き物販委員会と協力して作品集の広報、販売について仕組み作りを行い、作品集の誤植の修正テープ作業などを随時行なっています。

8. 物販委員会

■ 2021年度の報告

1. 現在取り扱っている商品（作品集、尺定規、ブビレ）の在庫を確認。

※ 3月末行った下半期棚卸をした時の情報です。最新在庫数は事務所・渡部さんが管理。

2. 作品集の未払い者について督促を行い解消。今後の取引は前払い方式に変更。

（大口取引等、特別な場合を除く）

3. 《作品集》販売価格について

- ・今販売している商品については据え置き。（バックナンバーについては割引価格）
- ・原価を考えると安すぎるのではという意見あり、次回出版する際は要検討。

4. ブビレについて

- ・バックナンバーは増刷しない方針、現在の在庫が尽きたら終了。(売り切れ間近)
- ・紙媒体での印刷費捻出が難しいため、違う販売形態(たとえば電子書籍など)がないか今後検討。

■ 2022年度の予定

1. 今まで商品ごとに分かれていた請求書・申込書などの物販フォーマットを統一する。
2. 物販マニュアルを作成。12月頃を目処に整える。
3. WEB販売など、より購入しやすい形態の販売方法を検討(長期案件)

※長期案件について 次期以降も引き継いで検討していく予定

9. 著作権委員会

- 現在、活動予定はありません。

10. PQ23実行委員会

- 2023年開催予定のプラハカドリエンナーレ展への参加について、理事会での協議を経て「PQ23検討委員会」を立上げ意見交換をしてみました。

【PQ検討委員会メンバー】伊藤雅子、佐々波雅子、杉山至、鈴木健介、清野佳苗、土岐研一、中川晃

- 今年度は準備年として、PQ23実行委員会を発足いたします。

→ ※ 詳細は「[第5号議案](#)」のページへ

その他. 各支部(東日本支部、中部日本支部、西日本支部)

- 2021年度は支部単位での特別な事業はありませんでした。

■ 2022年度の予定

- ・東日本支部 日本映像美術協議会(JVA)が主催する「JVA FESTA 2022」に審査協力を行う予定(12月)
- ・中部日本支部 (一社)日本演出者協会東海ブロックとの協働事業を開催予定(9月1~4日)